



ロータリー:
変化をもたらす

RI 会長テーマ

2017~2018 年度

大船渡西ロータリークラブ会報

七福人



会 長 水野 賢一
幹 事 鈴木 信男
副会長 高木 久子

会長指針:

一人はみんなの為に

．．． 例 会 記 録 ．．．

9月第1週例会 2017年 9月 7日 (木)

ソング : 君が代・四つのテスト ボックス : 37,000円 (報告者 紀室 綾子会員)

本日出席率 : 71.70% 前回修正後67.92% (メキップ2名) (報告者 千田喜一郎会員)

★ 会長の時間 水野賢一会長



9月3日の元会員の金野孝さん葬儀に西クラブの会長として参列して来ました。

金野さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

葬儀では弔辞まで読ませて頂きましたけど、初めての事で大変緊張しましたが、多少短い弔辞でしたが我ながら良い出来だと思います。

先日、自宅前で大阪に住んでいる詩人、里みちこさんと偶然に知り合いになりまして話しを聞いてみると、筆文字で描いた自作の詩を朗読する「詩語り」を全国で開いたり、もう会えない人への思い、自分自身が抱える感情を手紙にして投函する「優便ポスト」を発案し設置したりと、忙しく活動をしている方なようです。

新聞記事によると、心の痛みを正面から深く見つめた内容は、人生を前向きに考えられるようになると好評だと紹介されておりました。そこで、皆さんにお配りしますので、後でじっくりと読んで人生を深く、見つめ直す機会にでもなればと、紹介させて頂きました。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

イ 公式訪問時のお礼と月信用原稿提出のお願いが届いています。 月信原稿締切り 9月13日

ロ RLI 研修会開催予定の連絡が届いています。

岩手地区

パートⅠ 2017年12月24日(日) パートⅡ 2018年1月下旬 パートⅢ 2018年2月中旬

時間 いずれも9時~16時 場所 いずれもアイーナ

ハ 九州北部豪雨災害義援金として第2700地区へ2,300,000円送金した旨の連絡が届いています。

(募金額 2,291,797円)

2 日本事務局より 9月のロータリーレート1ドル109円との連絡が届いています。

3 仙台北ロータリークラブより

聖和学園高等学校インターアクトクラブ認証伝達式・祝賀会の案内が届いています。

日 時 10月28日(土) 午前10時30分登録開始 場 所 聖和学園

登録料 1人5,000円 締切り 9月26日

★ 菊地弘郎環境保全小委員長

例会終了後「育みの像」の清掃を行います。本日の担当は3班です。ご協力お願いいたします。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

国際奉仕アワー : ロータリー財団に対する理解を深めよう

★ 金比呂正 R 財団小委員長



・ ロータリー財団創立の歴史

1905年ポールハリスによってシカゴでスタートしたロータリークラブは、徐々に広まりを見せていました。メンバーにとっては「素晴らしい組織」となり、更に「この恩恵を広めよう」という発想になり、社会に還元したいという運動に発展しました。

ロータリー財団は、1917年米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において6人目のRI会長、アーチ・C・クランプが「全世界的な規模で、慈善・教育・その他の社会奉仕の分野で、良いことをするために基金を創ろう」と提案したことに始まります。

1928年に開催されたミネソタ州ミネアポリス国際大会で、この基金は「ロータリー財団」と名付けられその後、1931年にRI理事会の同意の下「信託組織」となりました。作成された「信託宣言」の大意は、「ロータリー財団が受け取り管理する財産及びその収益は、すべて国際ロータリーの行う行動のためにのみ支出される」というものです。

その後、1948年には最初の「高等教育の為のロータリー財団フェローシップ」というプログラムを開始し、様々なプログラムが実施され現在に至ります。

現在は、効果的に寄付金を使うためにプログラムの見直しが行われ、持続性の効果が重要視されて「未来の夢計画」と呼ばれる新しい補助金モデルとなりました。

・ ロータリー財団の使命

「ロータリー財団」の使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和を推進できるようにすることである。

・ ロータリー財団への寄付

ロータリー財団は非営利団体で、ロータリンをはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者からの自発的な寄付のみによって支えられています。

「毎年すべてのロータリアンが年次基金への寄付をすることでロータリー財団の活動に参加しよう！」というメッセージの下、年次基金への寄付は、7大陸にある160以上の国や地域で行われている財団プログラムの主要な資金源となっています。この年次基金への寄付はすべて、質の高いロータリアンのプロジェクトの支援に有効活用されます。

クラブを通じて毎年100ドル以上を寄付した人は自動的に「財団の友」会員となります。1000ドル以上を寄付した人は、ポールハリス・フェロー（財団表彰）となります。

1、年次基金寄付～年次基金は寄付の基盤であり、使い道を指定することなくロータリー財団に寄付するもので、3年後に全額使われます。

シェアシステムに基づき、45%が国際財団活動資金(WF)財団の運営費として5%、そして財団の管理の下にあと50%が地区財団活動資金(DDF)として、地区の裁量の下に使用されます。

- 2、 **恒久基金寄付**～ プログラム活動を継続し、プログラムの新設・拡張を容易にするために寄付は使用されず、基金として積み立てておくものです。収益のみが3年後に使用されます。
恒久基金に1000ドル以上寄付した人はベネファクターの認証を受けます。
- 3、 **使途指定寄付**～ あらかじめ使い道を決めて、金額を問わず財団プログラムを指定して寄付するものです。ポリオプラスがその代表的な例です。

・ロータリー財団のプログラム

・ポリオプラ・スプログラム

ロータリアンは、ポリオ撲滅に向けて何十万という人々を動員し、懸命な活動を続けています。

1985年ポリオ・プラスプログラムの発足以来、20億以上の子供たちが経口ポリオワクチンを接種してきました。「ロータリーの2億ドルチャレンジ」は、ポリオ撲滅のためにビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から授与された総額3億5,500万ドルの補助金に応え、ロータリアンがそれに上乗せするために2億ドルを集める募金活動です。ロータリーはこの2億ドルの目標を2012年1月に達成しました。

現在ポリオの発症例は、パキスタン・アフガニスタンの2国となりました。2018年までに撲滅目標を立て、ポリオ撲滅まであと1%で、約55億ドルが必要と言われております。ロータリアンのポリオ撲滅への関心とさらなる協力が叫ばれています。

「世界でよいことをしよう」財団標語の基、様々なプログラムを通じてロータリアンや支援者の人々は、世界をより良い場所に変えています。

「寄付」という言葉を「財団事業」への「協力金」と解釈して頂き、
今年度も更なる支援をお願いいたします。!!

例会終了後、小雨の中「育みの像」整備作業を行いました。

